

令和5年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第5号（8月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和5年7月27日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	平年並か多い	平年並か少ない

○8月の発生予報（沖縄群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		7月の発生量 (平年比)	7月からの 増減	8月の発生量 (平年比)	
カンシヨ	① イモキバガ（イモコガ）	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
かんきつ（タンカン）	① かいよう病	やや少	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② 黒点病	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	③ ミカンハモグリガ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	④ ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
マンガ	① ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
オクラ	① うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② アブラムシ類	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
	③ フタテンミドリヒメヨコバイ	やや多	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	④ チョウ目幼虫	(発生なし)並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
（ タ カ ン カ キ ン コ ）	カイガラムシ類	一部のほ場でカイガラムシ類の発生が見られた。果実に発生すると、排泄された甘露にすす病が発生したり、定着した部分が着色不良、肥大障害を引き起こすことで、外観が損なわれるため商品価値を低下させる。低密度に抑えるため、早期発見・防除に努める。
	サビダニ類	一部ほ場でサビダニ類による被害果が見られた。梅雨明け以降から発生が多くなるが、肉眼では発見しにくい。被害果が見られたほ場では、速やかに防除を行う。また例年発生が多いほ場では、予防的に薬剤を散布する。
マ ン ゴ ー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、施設外へ持ち出し処分する。
	ドクガ類・ナカジロフサヤガ ・ハマキガ類、シャクガ類	一部施設でコシロモンドクガ、ナカジロフサヤガ、オオセンダンヒメハマキの発生が見られた。ガ類幼虫は新葉で発生が見られるので、施設内を見回り、早期発見・防除に努める。
	カイガラムシ類	一部施設ではマルカイガラムシ類、カタカイガラムシ類、コナカイガラムシ類の発生がみられた。カイガラムシの発生が見られた施設では、収穫後のせん定枝を施設外に持ち出し処分するとともに、薬剤による防除を行う。
オ ク ラ	ミナミアオカメムシ	成、幼虫がさく果や蕾を吸汁加害する。見た目では被害はほとんどわからないが、さく果を切断すると子実が変色したり、吸汁部が褐色に変色している。さく果の基部が加害されると内部がスポンジ状になる。イネ科雑草等で世代を経過し、幼虫は5齢を経て1カ月程度で成虫になる。ほ場周辺のイネ科雑草を除去するとともに、薬剤防除に努める。

令和5年度 宮古群島 病害虫発生予報 第5号（8月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和5年7月27日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	平年並が多い	平年並か少ない

○8月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		7月の発生量 (平年比)	7月からの 増減	8月の発生量 (平年比)	
マンゴー	① ハダニ類	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（宮古群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、施設外へ持ち出し処分する。
	ドクガ類・ナカジロフサヤガ ・ハマキガ類・シャクガ類	一部施設でドクガ類及びナカジロフサヤガの発生が見られた。 ガ類幼虫は新葉で発生が見られるので、施設内を見回り、早期発見・防除に努める。
	カイガラムシ類	一部施設でコナカイガラムシ類の発生がみられた。 カイガラムシの発生が見られた施設では、収穫後のせん定枝を施設外に持ち出し処分するとともに、薬剤による防除を行う。

令和5年度 八重山群島 病害虫発生予報 第5号（8月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和5年7月27日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	平年並か多い	平年並か少ない

○8月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			7月の発生量 (平年比)	7月からの 増減	8月の発生量 (平年比)	
マンゴー	①	チャノキイロアザミウマ	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
	②	マンゴーハフクレタマバエ	並	↑	並	平年の発生量の推移（↑）
	③	ハダニ類	並	↓	多	平年の発生量の推移（↓）
オクラ	①	フタテンミドリヒメヨコバイ	並	↓	やや少	平年の発生量の推移（↓）
	②	チョウ目幼虫	並	→	並	平年の発生量の推移（→）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、ほ場外へ持ち出し処分する。
	ドクガ類・ナカジロフサヤガ ・ハマキガ類、シャクガ類	ガ類幼虫は新葉で発生が見られるので、施設内を見回り、早期発見・防除に努める。
	カイガラムシ類	せん定枝や残さは発生源となるので、ほ場外へ持ち出し処分するとともに、早期発見・防除に努める。
オクラ	ミナミアオカメムシ	成、幼虫がさく果や蕾を吸汁加害する。見た目では被害はほとんどわからないが、さく果を切断すると子実が変色したり、吸汁部が褐色に変色している。さく果の基部が加害されると内部がスポンジ状になる。イネ科雑草等で世代を経過し、幼虫は5齢を経て1カ月程度で成虫になる。ほ場周辺のイネ科雑草を除去するとともに、薬剤防除に努める。

向こう1か月の天候の見通し
沖縄地方（07/29～08/28）

予報のポイント

- 向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、高いでしょう。
- 1週目を中心に、熱帯低気圧や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。

1か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	低10 並30 高60% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（1か月）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） （%）以上 平年並も40以上（%）</p>	<p>降水量（1か月）</p> <p>少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） （%）以上 平年並も40以上（%）</p>	<p>日照時間（1か月）</p> <p>少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） （%）以上 平年並も40以上（%）</p>

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、日本の南海上を中心に平年より高いと予測され、太平洋高気圧は日本の南海上で強いでしょう。一方、東シナ海付近では平年より低いと予測され、沖縄地方では熱帯低気圧の影響を受けやすい時期があるでしょう。

上空約1500mの気温（右図）は、全国的に平年より高く、暖かい空気に覆われやすいでしょう。

7/29 - 8/25

CONTOUR PSEA. : 4hPa ANOMALY: 2hPa

地上気圧

7/29 - 8/25

CONTOUR TEMP. : 3°C ANOMALY: 1°C

上空約1500mの気温

季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

週別の平均気温と天候

	平均気温（1週目） 07/29～08/04	平均気温（2週目） 08/05～08/11	平均気温（3～4週目） 08/12～08/25
週別の天候	熱帯低気圧や湿った空気の影響を受けやすいため、曇りや雨の日が多いでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
沖縄地方	低20 並 50 高30% 平年並 の見込み	低20 並30 高 50 % 高い 見込み	低10 並30 高 60 % 高い 見込み
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（1週目）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） 以上 平年並も40 以上</p>	<p>平均気温（2週目）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） 以上 平年並も40 以上</p>	<p>平均気温（3～4週目）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） 以上 平年並も40 以上</p>

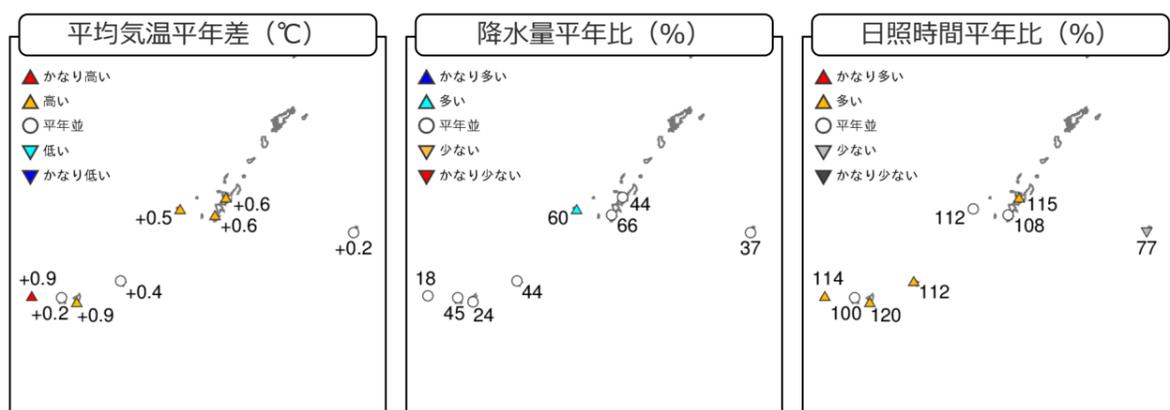
明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。

「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>) をご覧ください。

文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「[参考（確率予報の解説）](#)」をご覧ください。

最近1週間の天候経過



（実況）07/20～07/26	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
沖縄地方	+0.6℃（高い）	43%（平年並）	112%（平年並）

参考

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上	高い（多い）見込み
（20：40：40）	平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
（40：30：30）（30：40：30）（30：30：40）	ほぼ平年並の見込み
（40：40：20）	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み

気温・降水量・日照時間等の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>



天気日数（晴れ日数及び降水日数）の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/tenkinissuu/tenkinissuu.html>

